

## センサ・グローバル出荷状況調査

## 様式1 測定原理別 集計結果(2016年)

測定対象・測定原理別	総出荷 (日本向け+その他地域向け)			
	数量 (個)	前年比	金額 (千円)	前年比
固体撮像素子				
光起電力効果(固体撮像素子を除く)				
赤外線				
赤外線以外				
光導電効果	***		***	
その他				
光度センサ(光・赤外線)				
熱電効果(ゼーベック効果)				
電気抵抗変化				
サーミスタ				
サーミスタ以外				
その他				
温度センサ				
圧電効果				
圧抵抗効果				
静電容量変化				
その他				
圧力センサ				
圧電効果(ピエゾ効果)				
圧抵抗効果	***		***	
熱伝導式				
磁気抵抗効果、ホール効果、電磁誘導則				
ドプラー効果	***		***	
光量変化				
静電容量変化				
その他				
慣性力センサ(加速度・角速度・速さ)				
機械式				
静電容量変化				
磁気抵抗効果、ホール効果、電磁誘導則				
電気抵抗変化				
その他				
位置センサ(角度・長さ・測長・距離・変位・ひずみ・レベル・厚み)				
磁気抵抗効果				
ホール効果				
電磁誘導則				
その他				
磁界センサ(電位・電流・磁界・磁束)				
静電容量変化				
その他				
音・超音波センサ				
電気抵抗変化				
光電効果				
その他				
化学バイオセンサ(湿度・ガス・溶液・PH)				
その他のセンサ(放射線・複合・その他)				
合計				

単位：金額=千円、数量=個、前年比%

## ◆注

- ①光度センサの「光導電効果」は「その他」に統合する。  
 ②慣性力センサの「圧抵抗効果」及び「ドプラー効果」は「光量変化」に統合する。  
 ※単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
 ※前年比は、参加会社の連続性がないため、参考値。

本データの取扱について(ご注意)

## 【開示や公表の禁止】

本資料とこれに含まれる情報は、本資料の購入者だけに提供しているものです。それ以外への開示や公表は行わないように十分ご注意ください。

## 【禁無断転載】

本資料の内容の一部または全部を無断で複製複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権及び出版者の権利の侵害となります。

# センサ・グローバル出荷状況調査

## 様式1 測定原理別 集計結果(2017年)

測定対象・測定原理別	総出荷 (日本向け+その他地域向け)			
	数量 (個)	前年比	金額 (千円)	前年比
固体撮像素子				
光起電力効果(固体撮像素子を除く)				
赤外線				
赤外線以外				
光導電効果	***		***	
その他				
光度センサ(光・赤外線)				
熱電効果(ゼーベック効果)				
電気抵抗変化				
サーミスタ				
サーミスタ以外				
その他				
温度センサ				
圧電効果				
圧抵抗効果				
静電容量変化				
その他				
圧力センサ				
圧電効果(ピエゾ効果)				
圧抵抗効果	***		***	
熱伝導式				
磁気抵抗効果、ホール効果、電磁誘導則				
ドプラ効果	***		***	
光量変化				
静電容量変化				
その他				
慣性力センサ(加速度・角速度・速さ)				
機械式				
静電容量変化				
磁気抵抗効果、ホール効果、電磁誘導則				
電気抵抗変化				
その他				
位置センサ(角度・長さ・測長・距離・変位・ひずみ・レベル・厚み)				
磁気抵抗効果				
ホール効果				
電磁誘導則				
その他				
磁界センサ(電位・電流・磁界・磁束)				
静電容量変化				
その他				
音・超音波センサ				
電気抵抗変化				
光電効果				
その他				
化学バイオセンサ(湿度・ガス・溶液・PH)				
その他のセンサ(放射線・複合・その他)				
合計				

単位：金額=千円、数量=個、前年比%

◆注

- ①光度センサの「光導電効果」は「その他」に統合する。
  - ②慣性力センサの「圧抵抗効果」及び「ドプラ効果」は「光量変化」に統合する。
- ※単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

本データの取扱について(ご注意)  
**【開示や公表の禁止】**  
 本資料とこれに含まれる情報は、本資料の購入者だけに提供しているものです。それ以外への開示や公表は行わないように十分ご注意ください。  
**【禁無断転載】**  
 本資料の内容の一部または全部を無断で複写複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権及び出版者の権利の侵害となります。